

2020年3月期 第3四半期 決算ハイライト



 **りそなホールディングス**
RESONA

2020年2月14日

2020年3月期 第3四半期(累計)決算の概要

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益：1,062億円

- 前同比△348億円 (△24.7%)
前期計上の一時利益*1除き前同比+50億円 (+4.9%)
- 通期目標*2比進捗率 66.4%

■ 実質業務純益：1,670億円 前同比+100億円 (+6.3%)

- **業務粗利益：4,782億円** 前同比+88億円 (+1.8%)
 - 国内預貸金利益：前同比△83億円
貸出金平残：+1.48%、預貸金利回り差：△0.04%
平残・利回り共に計画インライン、利回り低下幅の縮小継続
 - フィー収益：前同比△51億円、フィー収益比率：28.6%
投信・保険が減益も、FW・決済等の注力ビジネスは堅調
 - 債券関係損益(先物込)：前同比+215億円
前年度のポートフォリオ健全化を通じて収益・評価益共大きく改善
- **経費：△3,115億円** 前同比+28億円 (改善)
デジタル化による省力化進展、人件費・物件費共に減少

■ 与信費用：△126億円 前同比△253億円

**費用増は前年戻入益の反動減と上期予防的引当が主因
不良債権比率は更に改善**

■ グループ資産運用機能をRAM*3へ集約 ('20/1~)

- 年金運用で培った長期国際分散投資のノウハウをリテールのお客さまへ
 - 運用資産残高：約18兆円 (国内第8位*4の資産規模)
 - 運用プロフェッショナル：約100名

HD連結(億円)	2020/3期 1-3Q (a)	前同比		通期目標比 進捗率 (d)
		(b)	増減率 (c)	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (1)	1,062	△348	△24.7%	66.4%
1株当たり四半期純利益(EPS、円) (2)	46.18	△14.76	△24.2%	
1株当たり純資産(BPS、円) (3)	951.86	+56.29	+6.2%	
業務粗利益 (4)	4,782	+88	+1.8%	
資金利益 (5)	3,182	△69		
うち国内預貸金利益*5 (6)	2,582	△83		
フィー収益 (7)	1,368	△51		
フィー収益比率 (8)	28.6%	△1.6%		
信託報酬 (9)	140	△3		
役員取引等利益 (10)	1,227	△47		
その他業務粗利益 (11)	231	+208		
うち債券関係損益(先物込) (12)	81	+215		
経費(除く銀行臨時処理分) (13)	△3,115	+28	+0.8%	
経費率 (14)	65.1%	△1.8%	(改善)	
実質業務純益 (15)	1,670	+100	+6.3%	
株式等関係損益(先物込) (16)	88	+59		
与信費用 (17)	△126	△253		
その他の臨時・特別損益 (18)	△101	△287		
税金等調整前 四半期純利益 (19)	1,530	△380	△19.9%	
法人税等合計 (20)	△426	△0		
非支配株主に帰属する 四半期純利益 (21)	△41	+33		

*1. KMFG統合関連一時利益(負ののれん等)398億円 *2. 2020/3期 通期業績目標1,600億円

*3. リソナアセットマネジメント *4. 各社webサイト等の公表データ('19/3末基準)に基づきりそな銀行が試算

*5. 国内預貸金利益：銀行合算、銀行勘定(譲渡性預金を含む) *6. 利益にマイナスの場合は「△」を付して表示

2020年3月期 第3四半期(累計) 損益内訳

(億円)	HD連結		銀行合算		りそな銀行 (e)	埼玉りそな銀行 (f)	KMFG銀行 合算 (g)	連単差 (a)-(c)
	(a)	前同比 (b)	(c)	前同比 (d)				
業務粗利益 (1)	4,782	+88	4,373	+89	2,507	858	1,006	409
資金利益 (2)	3,182	△69	3,135	△80	1,686	635	813	46
うち国内預貸金利益 (3)			2,582	△83	1,306	540	734	
うち投資信託解約損益 (4)	23	+11	22	+11	△3	2	24	1
フィー収益 (5)	1,368	△51	1,015	△54	692	177	145	352
フィー収益比率 (6)	28.6%	△1.6%	23.2%	△1.7%	27.6%	20.6%	14.4%	
信託報酬 (7)	140	△3	140	△3	140			△0
役務取引等利益 (8)	1,227	△47	875	△50	552	177	145	352
その他業務粗利益 (9)	231	+208	221	+224	128	45	47	10
うち債券関係損益(先物込) (10)	81	+215	83	+233	22	29	31	△2
経費(除く銀行臨時処理分) (11)	△3,115	+28	*1 △2,944	+30	△1,563	△549	*1 △831	△171
経費率 (12)	65.1%	(改善) △1.8%	67.3%	(改善) △2.1%	62.3%	64.0%	82.5%	
持分法による投資損益 (13)	4	*2 △16						4
実質業務純益 (14)	1,670	+100	1,428	+120	944	308	175	242
コア業務純益(除く投資信託解約損益) *3 (15)			1,297	△97	912	264	120	
株式等関係損益(先物込) (16)	88	+59	136	+80	41	46	48	△48
与信費用 (17)	△126	△253	△100	△227	△55	△17	△27	△25
その他の臨時・特別損益 (18)	△101	*4 △287	△100	+104	18	△21	△97	△1
税引前(税金等調整前) 四半期純利益 (19)	1,530	△380	1,364	+78	948	316	99	166
法人税等合計 (20)	△426	△0	△389	△28	△265	△93	△30	
非支配株主に帰属する 四半期純利益 (21)	△41	+33						
(親会社株主に帰属する) 四半期純利益 (22)	1,062	△348	974	+50	682	223	68	

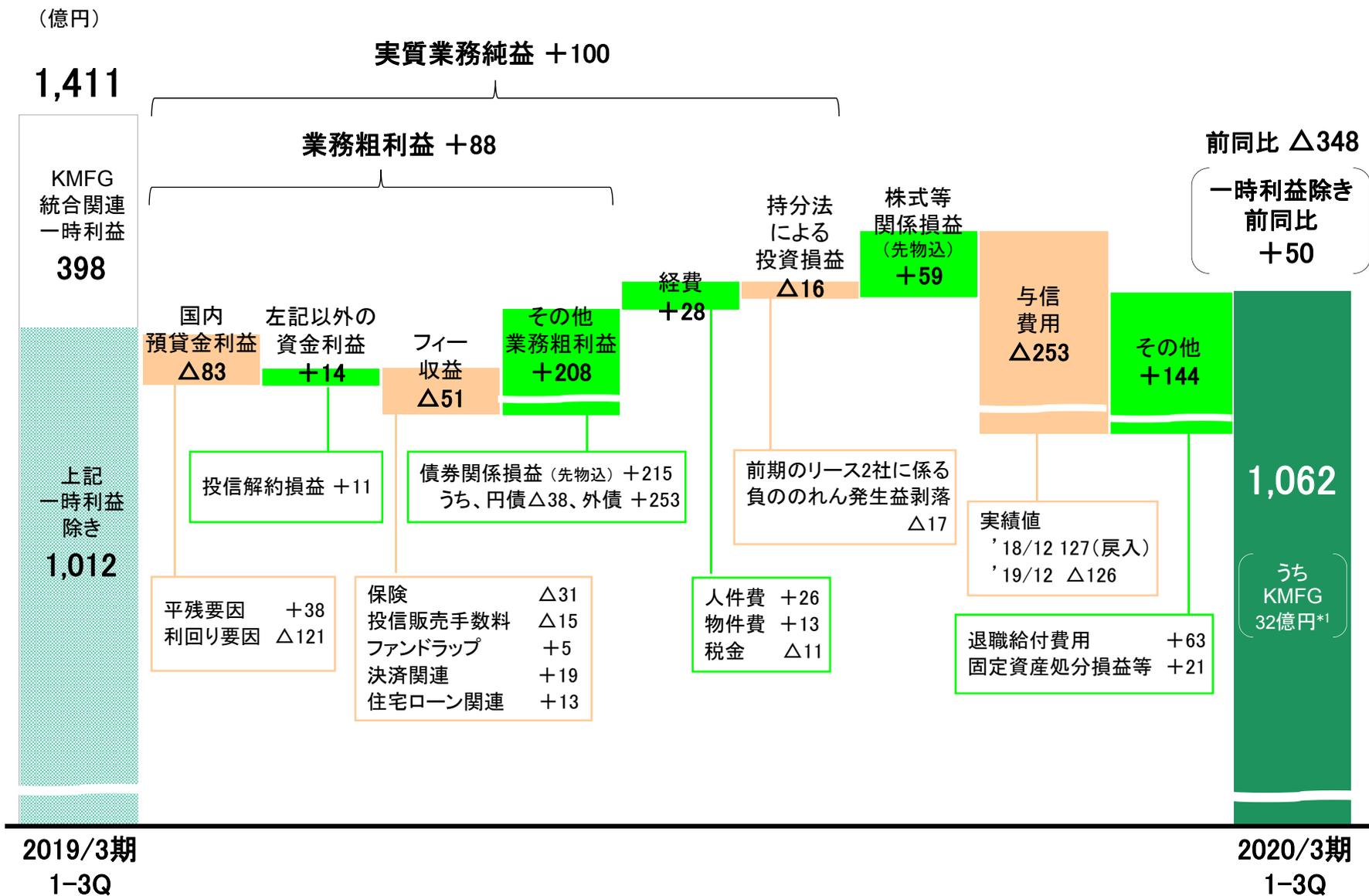
*1. KMBの旧びわこ銀行のれん償却額(△5億円)を除く *2. 前期計上のリース会社2社の持分法適用会社化に伴う負ののれん発生益剥落要因(△17億円)を含む

*3. 実質業務純益-投資信託解約損益-債券関係損益(現物)

*4. 前期計上のKMFG統合関連一時利益の剥落(△398億円)、KMFG統合関連費用の増加(△68億円)を含む

親会社株主に帰属する四半期純利益の前同比増減要因

HD連結



*1. KMFG連結四半期純利益(63) × 51.2%

貸出金・預金の平残・利回り(国内)

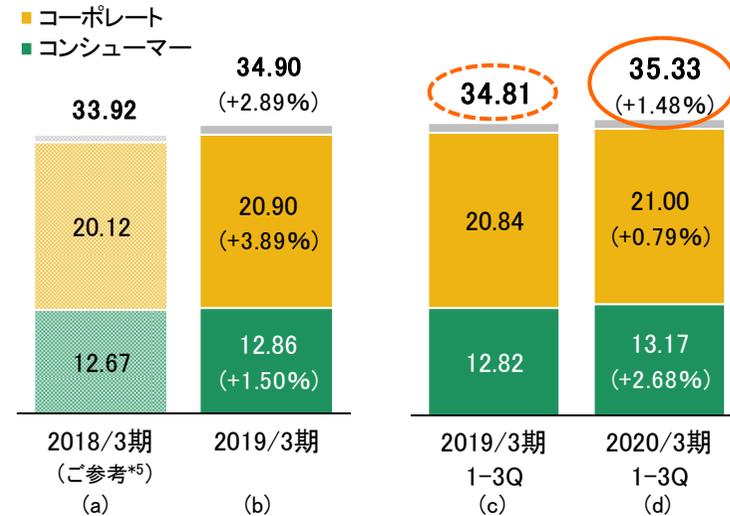
銀行合算

貸出金・預金の平残、利回り、利回り差

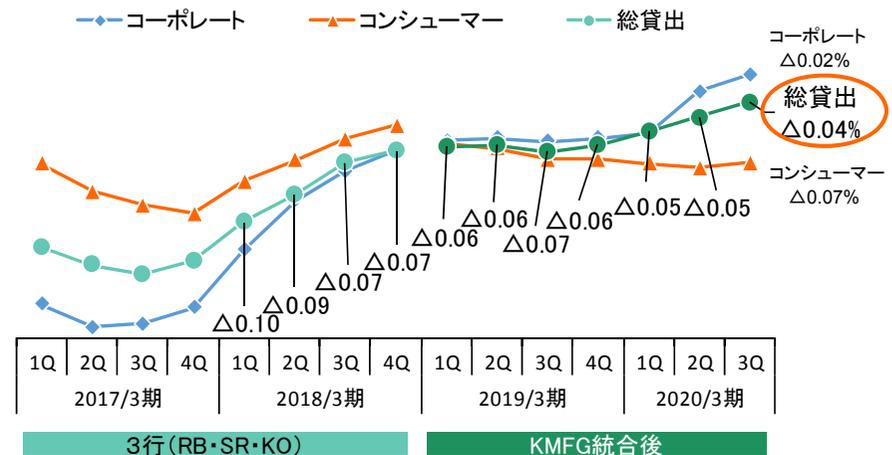
平残：兆円 収益・費用：億円		1-3Q		2020/3期	
		実績 (a)	前同比*3 (b)	計画*4 (c)	前期比*3 (d)
貸出金	平残 (1)	35.33	+1.48%	35.40	+1.41%
	利回り (2)	0.99%	△0.04%	0.98%	△0.04%
	収益 (3)	2,638	△88	3,490	△122
コーポレート部門(公共除) *1	平残 (4)	21.00	+0.79%	21.05	+0.70%
	利回り (5)	0.84%	△0.03%	0.84%	△0.03%
コンシューマー部門*2	平残 (6)	13.17	+2.68%	13.19	+2.55%
	利回り (7)	1.25%	△0.07%	1.25%	△0.07%
預金+NCD	平残 (8)	51.97	+2.47%	51.84	+2.02%
	利回り (9)	0.01%	△0.00%	0.01%	△0.00%
	費用 (10)	△55	+4	△71	+5
預貸金	利回り差 (11)	0.97%	△0.04%	0.97%	△0.04%
	利益 (12)	2,582	△83	3,419	△117

貸出金平残、利回り推移

【貸出金平残(兆円)】()内は前同比増減率



【貸出金利回り 前同比(%)】



*1. 社内管理計数、コーポレート部門(公共除)：一般貸出 + アパートマンションローン
 *2. 社内管理計数、コンシューマー部門：自己居住用住宅ローン + 消費性ローン
 *3. 平残は増減率 *4. 修正計画(2019年11月公表) *5. KMFG統合後計数に補正

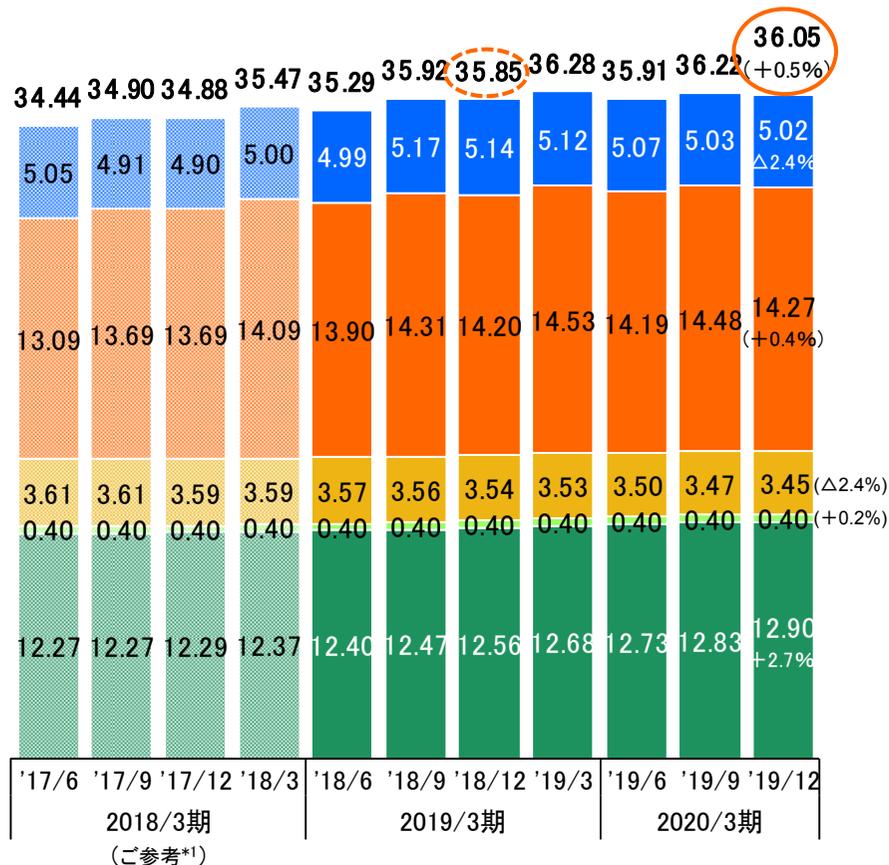
貸出金・預金末残

銀行合算

貸出金末残

兆円、()内は
前同比増減率

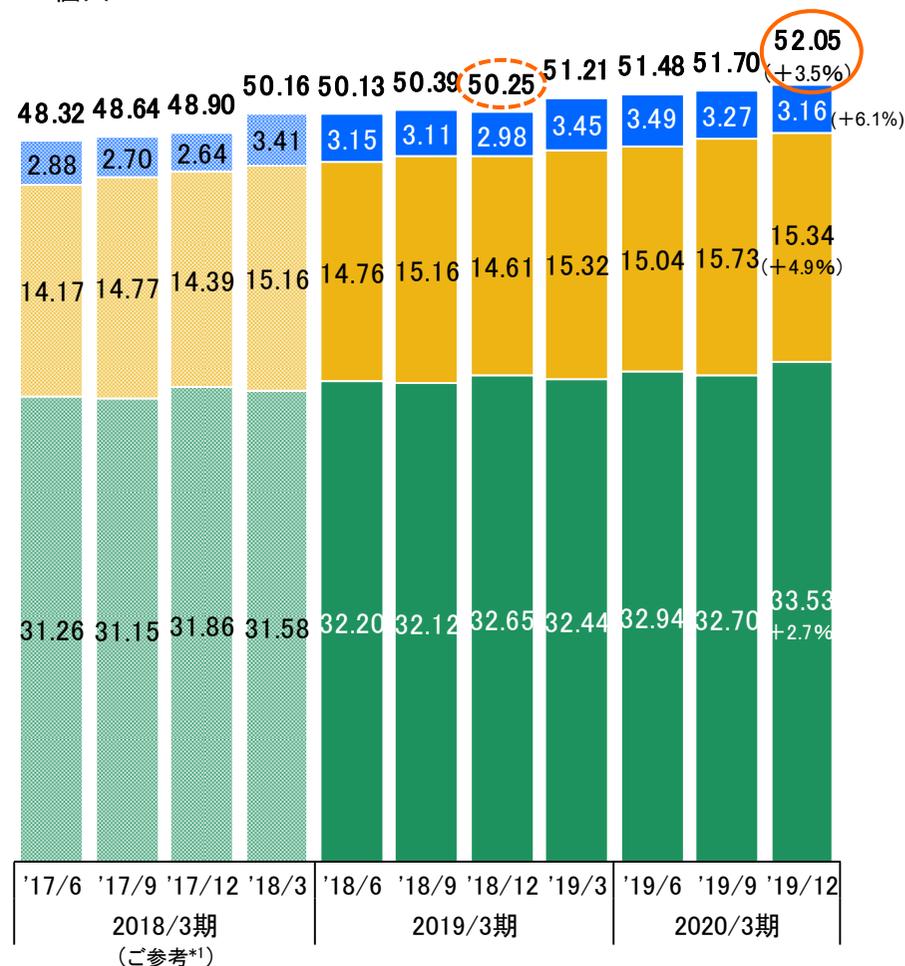
- コーポレート部門(大企業・その他)
- コーポレート部門(中小企業)
- コーポレート部門(アパートマンションローン)
- コンシューマー部門(消費性ローン)
- コンシューマー部門(自己居住用住宅ローン)



預金末残

兆円、()内は
前同比増減率

- その他
- 法人
- 個人



*1. KMFG統合後計数に補正

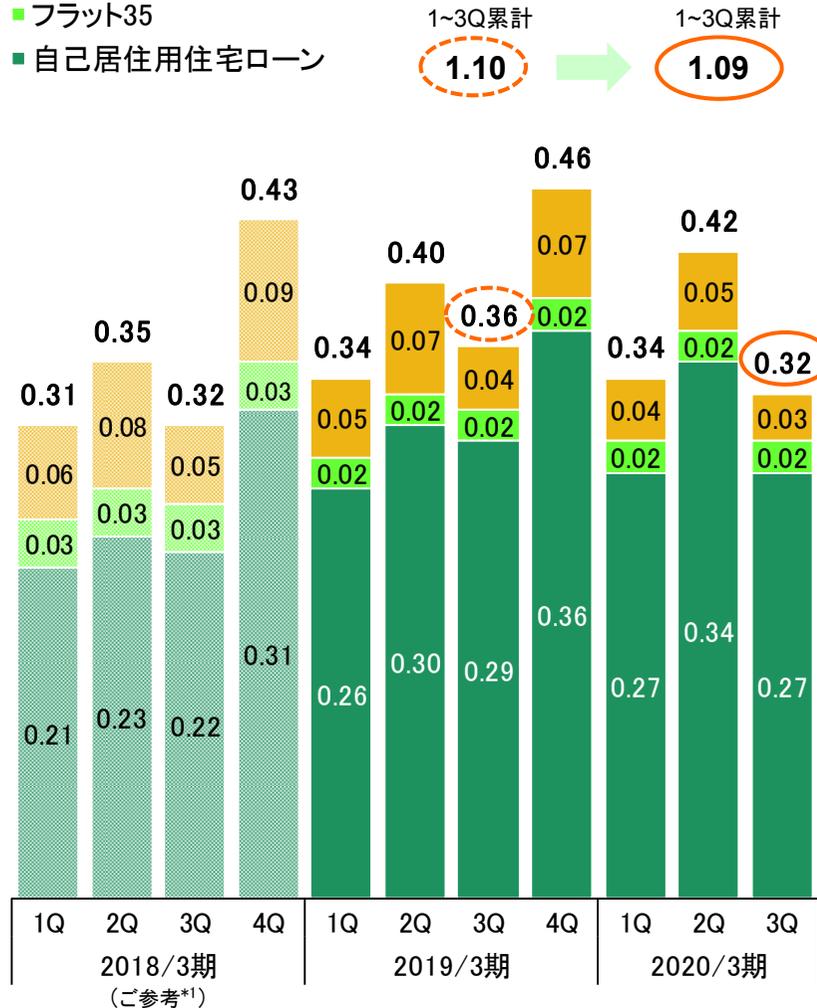
住宅ローンビジネス

銀行合算

住宅ローン実行額

兆円、()内は
前同比増減率

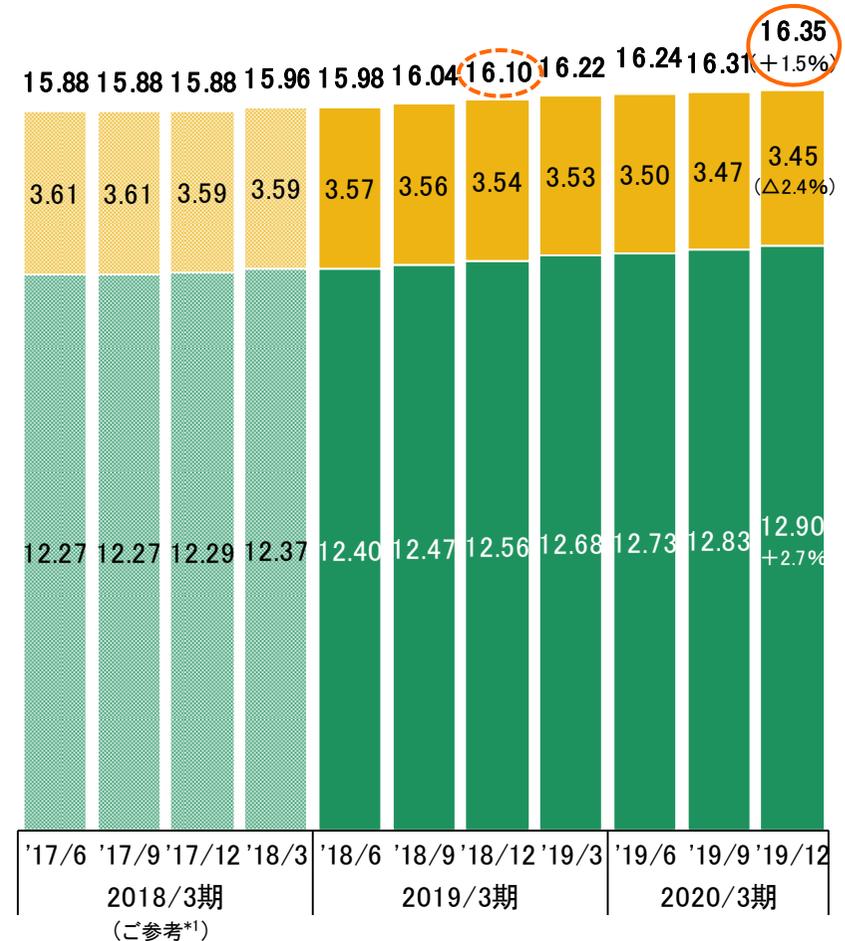
- アパートマンションローン
- フラット35
- 自己居住用住宅ローン



住宅ローン未残

兆円、()内は
前同比増減率

- アパートマンションローン
- 自己居住用住宅ローン

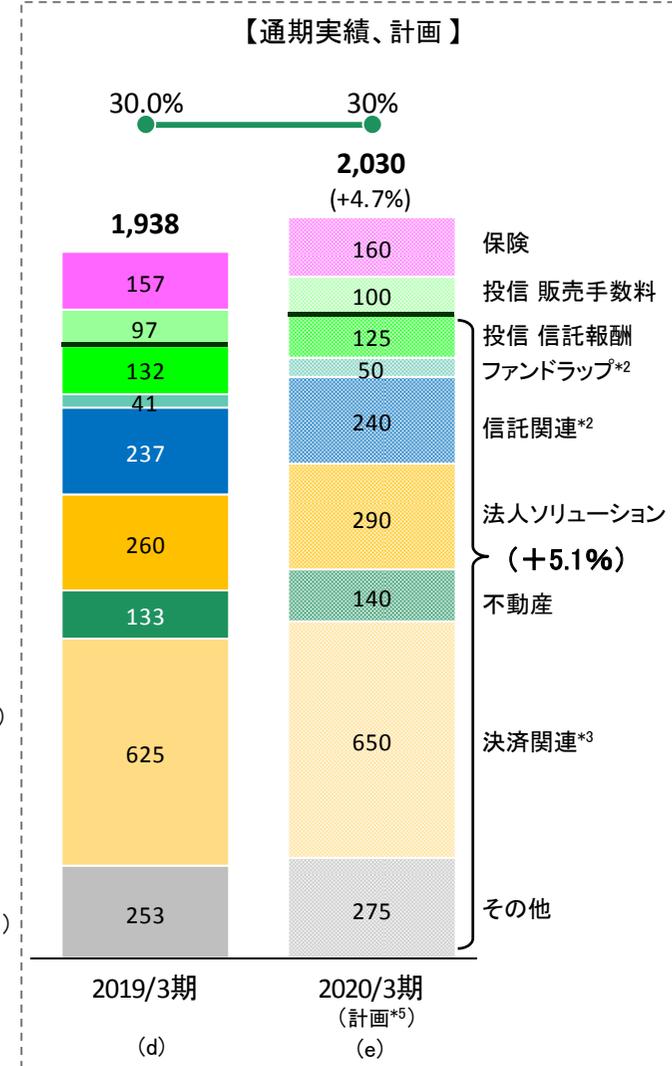
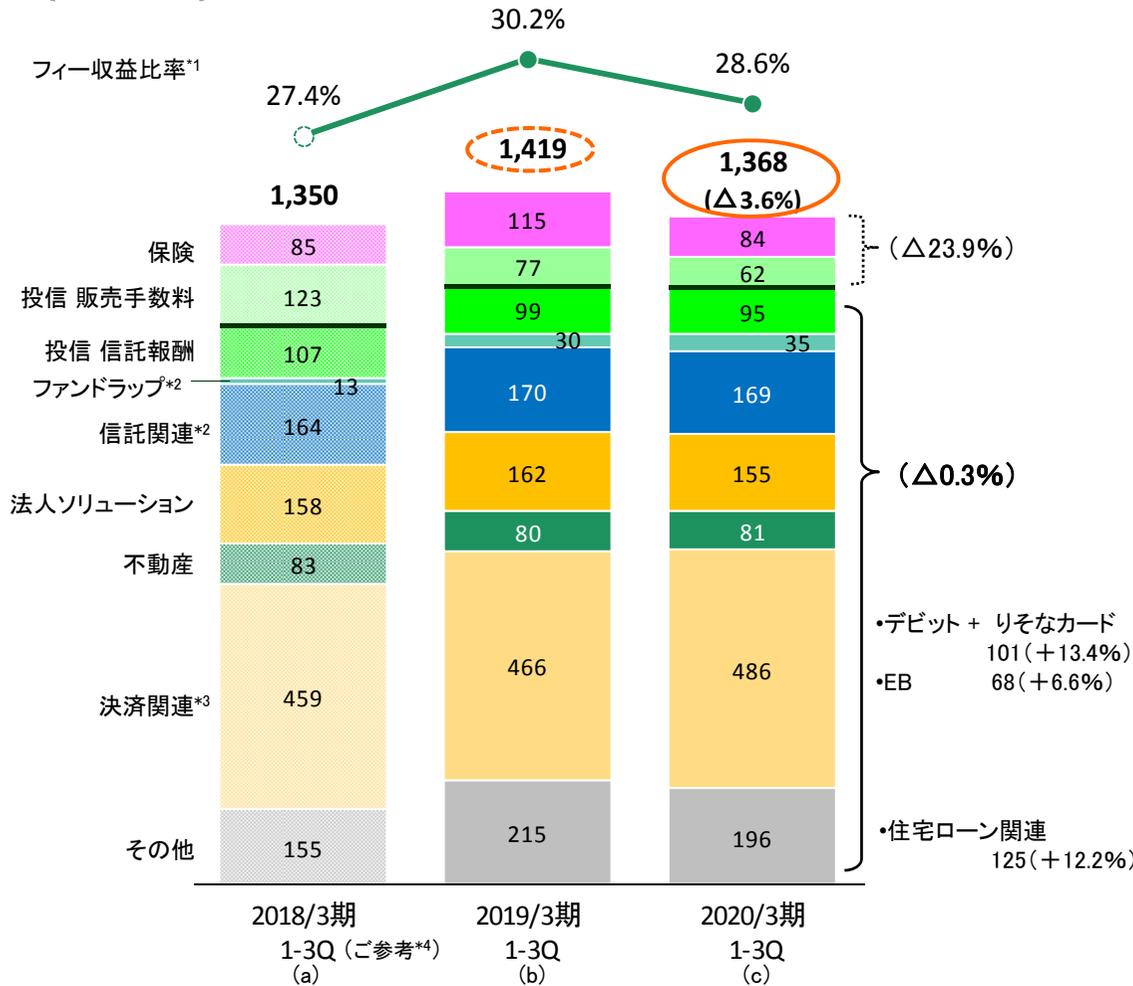


*1. KMFG統合後計数に補正

フィー収益

- フィー収益比率*1 : 28.6%
- 保険、投信販売手数料は減速も、ファンドラップ(前同比+17.7%)、決済関連(同+4.2%) が堅調

億円、()内は前同比増減率

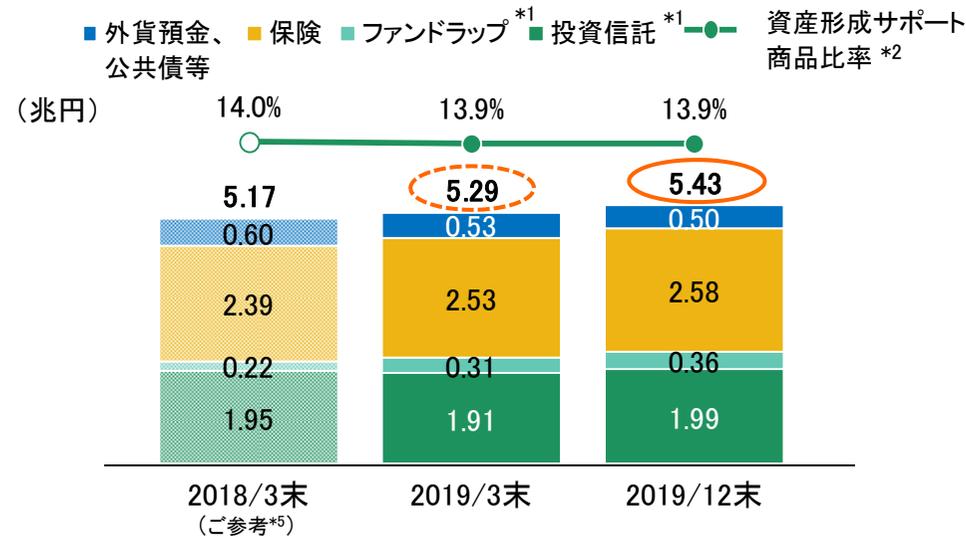


*1. (役務取引等利益+信託報酬) / 業務粗利益 *2. リソナアセットマネジメントの役務利益を含む
 *3. 内為、口振、EB、VISAデビットおよびリソナ決済サービス、リソナカードの役務利益
 *4. KMFG統合後計数に補正 *5. 修正計画(2019年11月公表)

主要なフィービジネス(1) (資産形成サポートビジネス)

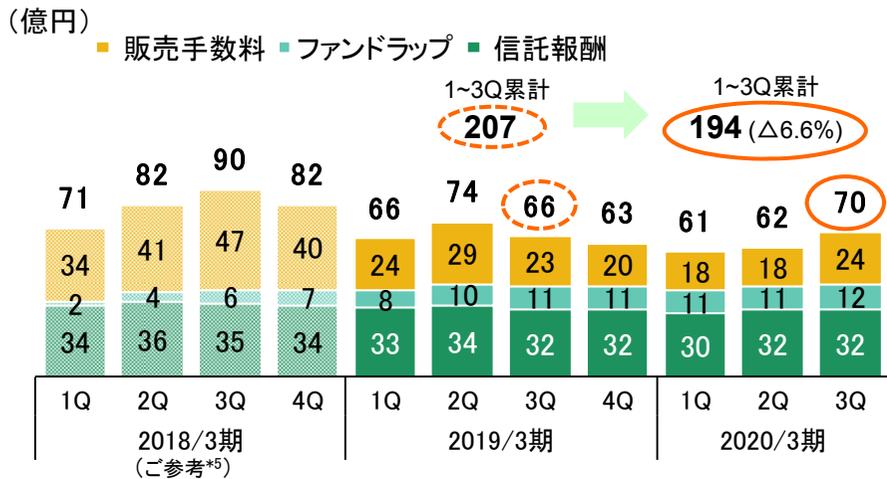
HD連結

個人向け資産形成サポート商品残高

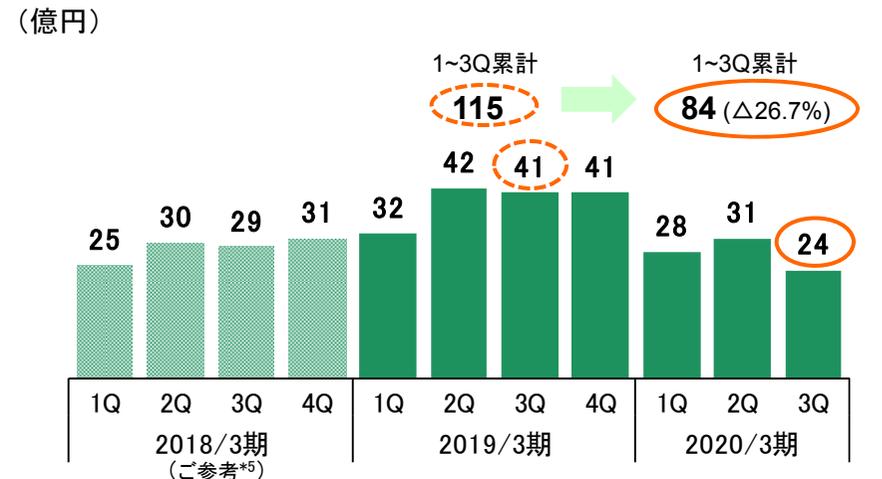


- FW(ファンドラップ)残高*1: '20/1月 4,000億円突破
'19/12末 3,622億円 (法人込 3,963億円)
- 投資信託・FWの増減: '20/3期1-3Q 約+1,298億円
● うち純流入額(販売-解約・償還): 約+610億円
- 投信・FW、保険利用先数: '19/12末 92.1万先
● うちNISA口座数*3: 35.8万口座 (3末比+6.1%)
- iDeCo加入者数*4: '19/12末 11.3万先 (3末比+14.8%)

投資信託・ファンドラップ収益



保険収益

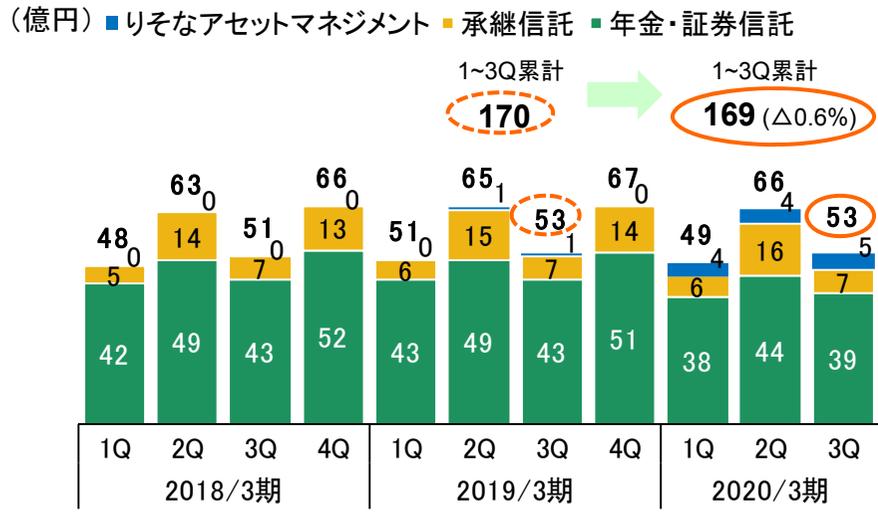


*1. 時価ベース残高 *2. 個人向け資産形成サポート商品残高/(個人向け資産形成サポート商品残高+個人預金(円貨))
*3. NISA、ジュニアNISA、積立NISA *4. iDeCo加入者+運用指図者 *5. KMFG統合後計数に補正

主要なフィージネス(2) (信託・法人ソリューション・不動産)

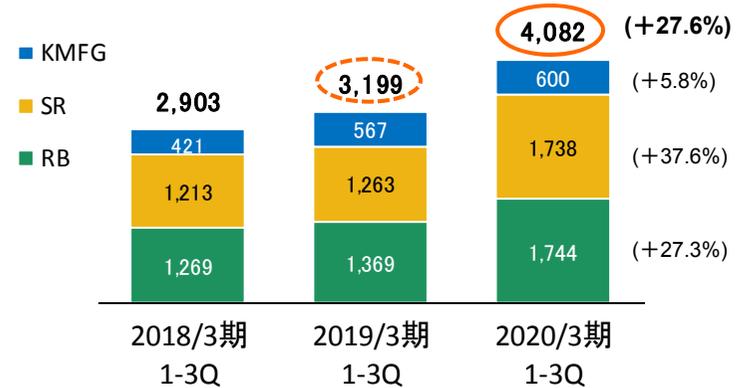
HD連結

信託業務関連収益

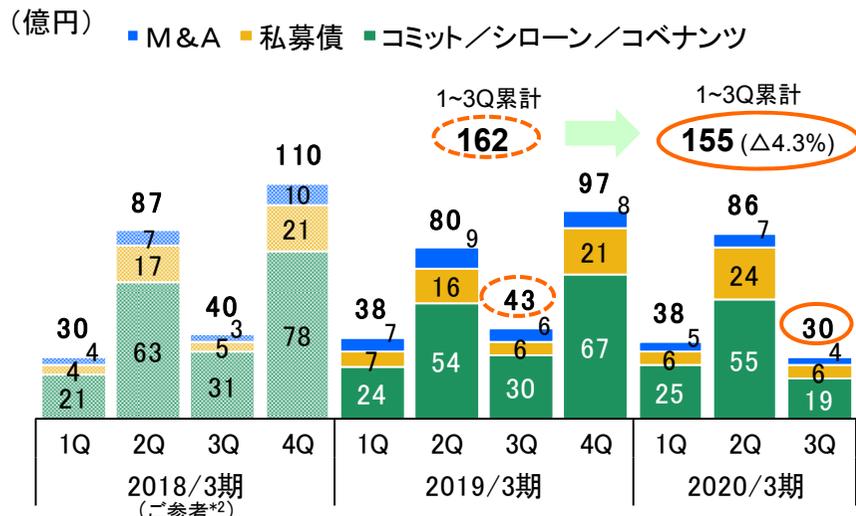


■ 信託機能のグループ展開を通じた収益機会の拡大

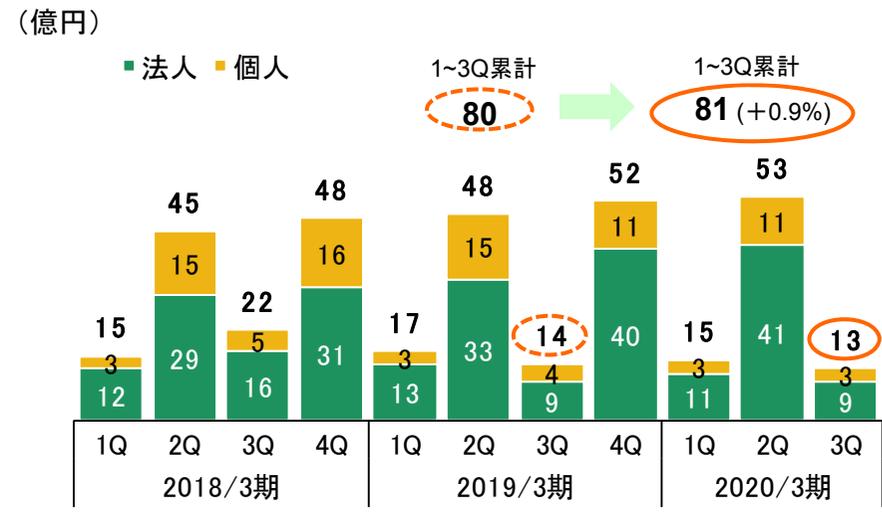
【承継信託 新規利用件数】



法人ソリューション収益



不動産業務収益*1



*1. 不動産ファンド出資関連収益除く *2. KMFG統合後計数に補正

与信費用、不良債権

HD連結・銀行合算

与信費用

(億円)	2018/3期 (ご参考*1) (a)	2019/3期		2020/3期	
		1-3Q (b)	(c)	1-3Q (d)	計画*2 (e)
HD連結 (1)	101	127	△13	△126	△245

銀行合算 (2)	147	126	1	△100	△190
一般貸倒引当金 (3)	90	136	112	11	
個別貸倒引当金等 (4)	57	△10	△110	△112	
新規発生 (5)	△222	△180	△313	△198	
回収・上方遷移等 (6)	279	169	202	85	

連単差 (7)	△46	0	△14	△25	△55
うち、住宅ローン保証 (8)	0	37	30	△14	
うち、リそなカード (9)	△23	△17	△22	△18	

<与信費用比率>		(bps)				
HD連結*3 (10)		2.8	4.7	△0.3	△4.6	△6.6
銀行合算*4 (11)		4.0	4.5	0.0	△3.6	△5.0

*正の値は戻入を表す

*1. KMFG統合後計数に補正 *2. 修正計画(2019年11月公表)

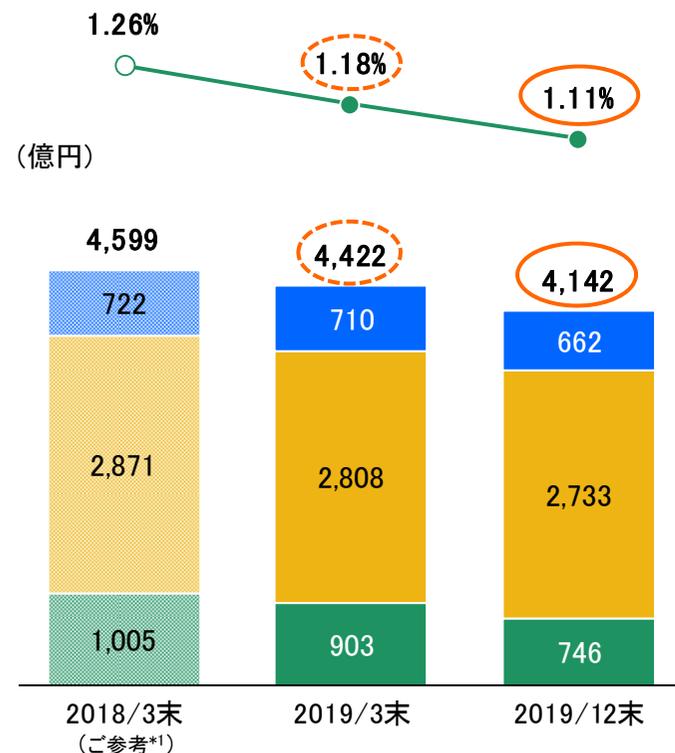
*3. HD連結与信費用/(連結貸出金+連結支払承諾見返末残)(期首・期末平均)

*4. 銀行合算与信費用/金融再生法基準与信残高(期首・期末平均)

不良債権残高・比率(銀行合算)

(金融再生法基準)

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
- 危険債権
- 要管理債権
- 不良債権比率



有価証券*1

(億円)	2018/3末 (ご参考*2) (a)	2019/3末 (b)	2019/12末 (c)	評価差額 (d)
その他有価証券 (1)	29,181	25,665	32,132	6,433
株式 (2)	3,654	3,538	3,451	6,307
債券 (3)	15,327	11,882	16,867	△3
国債 (4)	3,251	461	4,878	△39
(デュレーション) (5)	6.5年	6.7年	14.1年	-
(BPV) (6)	△2.1	△0.3	△6.9	-
地方債・社債 (7)	12,075	11,420	11,988	36
その他 (8)	10,199	10,245	11,813	128
外国債券 (9)	3,892	4,723	6,834	70
(デュレーション) (10)	8.4年	5.3年	5.1年	-
(BPV) (11)	△3.1	△1.8	△2.6	-
国内投資信託 (12)	6,080	5,406	4,933	37
(評価差額) (13)	6,728	5,983	6,433	
満期保有債券 (14)	20,571	21,274	19,630	339
国債 (15)	15,655	15,395	11,958	241
(評価差額) (16)	520	471	339	

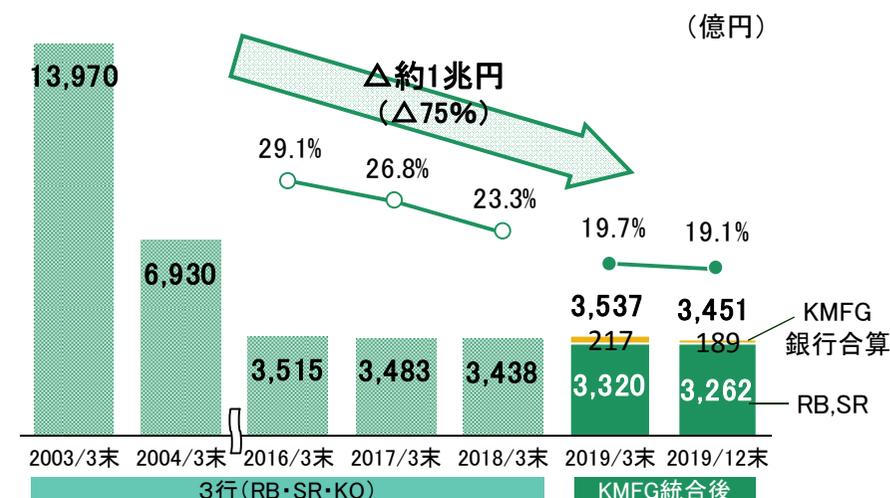
- 3資産の評価差額は改善 (4)+(9)+(12)
'18/3末*2 △212 ⇒ '19/3末 +24 ⇒ '19/12末 +69 (億円)

政策保有株式

- 損益分岐点株価(日経平均ベース): 8,000円程度
- 2019/12期 削減額(上場分・取得原価): 86億円
売却益(同): 91億円
- 政策保有株式に関する方針の概要
 - 公的資金による資本増強以降、残高圧縮に取り組み、価格変動リスクを低減
 - 保有の是非は中長期的な取引展望の実現可能性を含むリスク・リターンの検証により判断し、中期的に普通株式等Tier1*3比「10%台」に削減方針
 - 2017/3期からの5年間で350億円程度の削減を計画

【政策保有株式残高】

- CET1(OCI除き)比



自己資本比率

■ 2019/12末の自己資本比率(国内基準)は11.33%、普通株式等Tier1比率※(国際統一基準)は10.36%と十分な水準を維持

※その他有価証券評価差額金除き

国内基準

(億円)	2019/3	2019/12	増減
自己資本比率 (1)	10.10%	11.33%	+1.23%
自己資本の額 (2)	19,259	19,650	+ 390
コア資本に係る基礎項目の額 (3)	19,781	20,332	+ 551
うち普通株式に係る株主資本の額 (4)	16,367	17,100	+ 732
うち調整後非支配株主持分の額 (5)	2,362	2,365	+ 2
うち劣後債等 (経過措置による算入) (6)	970	714	△255
コア資本に係る調整項目の額 (7)	521	682	+ 160
リスク・アセット等 (8)	190,620	173,340	△17,280

■ 自己資本の額の増減要因

- 株主資本の額 +732億円
 - ・ 親会社株主に帰属する四半期純利益 +1,062億円
 - ・ 期末配当 △241億円
 - ・ 自己株式の取得 △100億円
- 劣後債の資本算入額減少 △255億円

■ リスク・アセット等の増減要因

- KMBのIRB移行及びMBの連結IRB移行 △11,356億円
- パラメータ低下等 △3,135億円
- 投資信託の残高減少 △2,991億円

■ グループ銀行、銀行持株会社

国内基準 (億円)	りそな (連結)	埼玉りそな (単体)	KMFG (連結)
自己資本比率	10.89%	13.74%	8.33%
自己資本の額	10,931	3,558	4,619
リスク・アセット等	100,365	25,886	55,412

(参考)国際統一基準

(億円)	2019/3	2019/12	増減
その他有価証券評価差額金除き (9)	9.30%	10.36%	+1.06%
普通株式等Tier1比率 (10)	11.47%	12.95%	+1.48%
Tier1比率 (11)	11.54%	13.18%	+1.64%
総自己資本比率 (12)	12.21%	13.90%	+1.69%
普通株式等Tier1資本の額 (13)	22,392	22,834	+ 441
基礎項目 (14)	23,093	23,646	+ 552
うち普通株式に係る株主資本の額 (15)	16,367	17,100	+ 732
うちその他有価証券評価差額金 (16)	4,239	4,564	+ 325
うち調整後非支配株主持分の額 (17)	2,227	1,782	△445
調整項目の額 (18)	701	811	+ 110
その他Tier1資本の額 (19)	118	411	+ 292
Tier1資本の額 (20)	22,511	23,245	+ 733
Tier2資本の額 (21)	1,306	1,261	△44
総自己資本の額(Tier1+Tier2) (22)	23,817	24,507	+ 689
リスク・アセット等 (23)	195,066	176,280	△18,786

(参考)

■ KMB・MBは2019年6月末よりF-IRB適用

■ バーゼル3最終化の影響

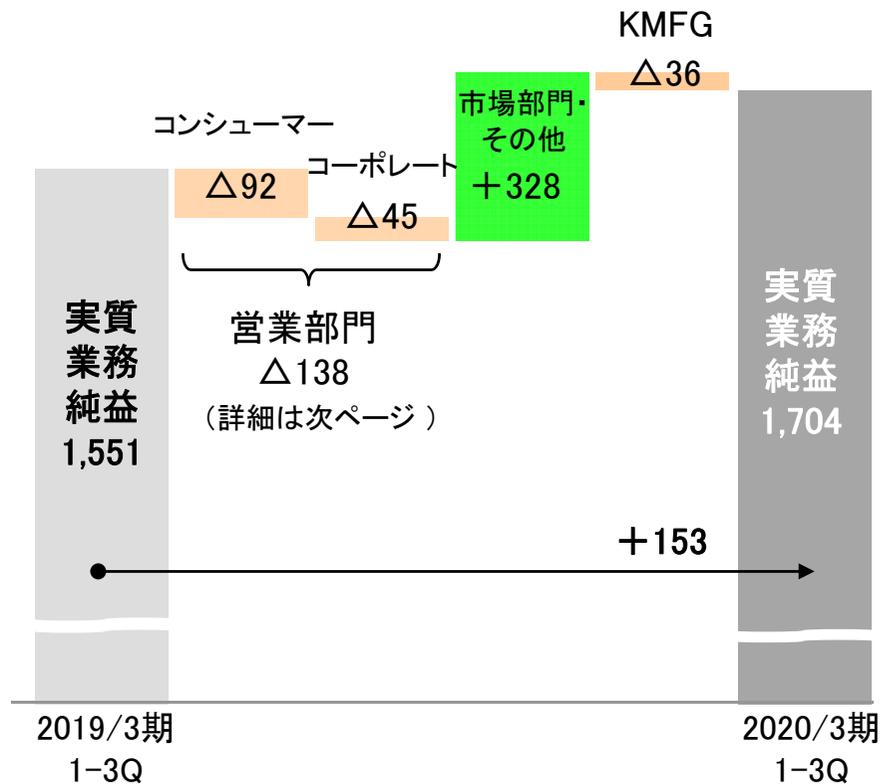
(その他有価証券評価差額金除き)普通株式等Tier1比率 8.8%程度※

※ 2019/12末実績値(9)に対し、バーゼル3最終化(SA・資本フロア見直し等・完全実施基準)によるリスク・アセット増加のみを反映した試算値

(ご参考)事業部門別の損益概要

(億円)		2020/3期 1-3Q	前同比
営業部門	業務粗利益 (1)	3,334	△140
	経費 (2)	△2,227	+2
	実質業務純益 (3)	1,107	△138
コンシューマー	業務粗利益 (4)	1,474	△94
	経費 (5)	△1,156	+1
	実質業務純益 (6)	318	△92
コーポレート	業務粗利益 (7)	1,860	△46
	経費 (8)	△1,071	+0
	実質業務純益 (9)	789	△45
市場部門・その他	業務粗利益 (10)	404	+333
	経費 (11)	△29	+11
	実質業務純益 (12)	379	+328
KMFG	業務粗利益 (13)	1,076	△51
	経費 (14)	△858	+14
	実質業務純益 (15)	218	△36
合計	業務粗利益 (16)	4,816	+141
	経費 (17)	△3,115	+28
	実質業務純益 (18)	1,704	+153

(億円)



管理会計における 計数の定義

1. 「営業部門」、「市場部門・その他」はKMFG連結子会社を除くHD連結子会社の計数
2. 「市場部門」の業務粗利益には株式等関係損益の一部を、「その他」には経営管理部門の計数等を含む

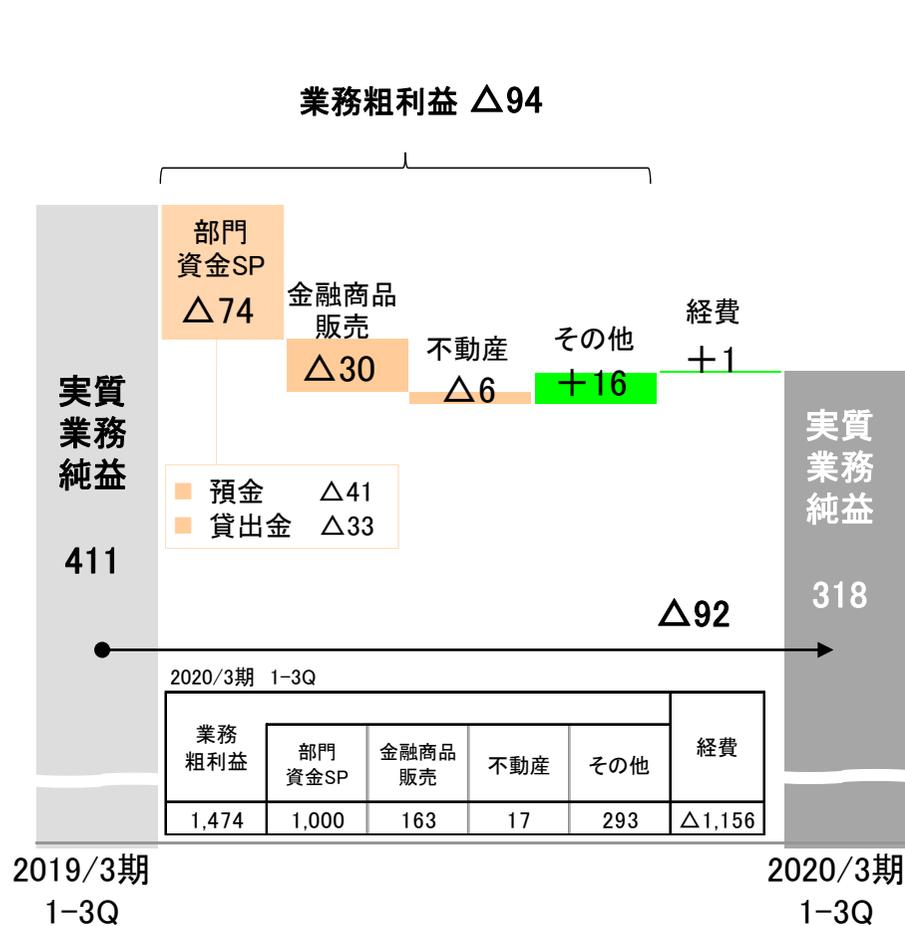
(ご参考) 営業部門の損益概要

HD連結 (KMFG連結除)

コンシューマー部門

- 実質業務純益は前同比92億円の減益

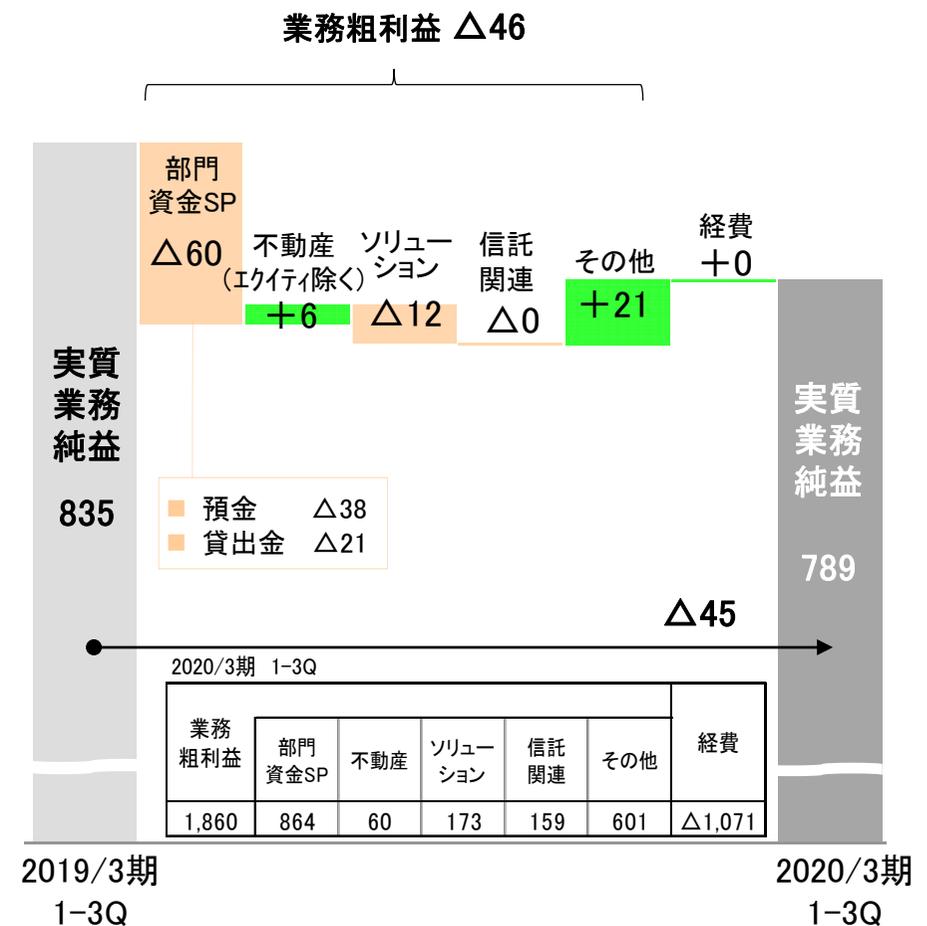
(億円)



コーポレート部門

- 実質業務純益は前同比45億円の減益

(億円)



-
- 本資料における表記の定義は下記の通りです。

[HD] リソナホールディングス、[RB] リソナ銀行、[SR] 埼玉リソナ銀行、
[KMFG] 関西みらいフィナンシャルグループ、[KMB] 関西みらい銀行※、[MB] みなと銀行
※[KU] 関西アーバン銀行と [KO] 近畿大阪銀行 が2019年4月1日に合併

計数には社内管理計数を含みます。

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府や中央銀行の方針、法令、実務慣行および解釈に係る展開および変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにリソナグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。